



令和7年度 群馬県立しろがね特別支援学校 グランドデザイン

【学校教育目標】

児童生徒一人一人が、自立と社会参加をめざして、その個性・能力を調和的に高めていくための主体的な行動力を身に付ける。

〈校訓〉

友情

笑顔

元気

【目指す生徒像】

- 1 よく学び、よく考えて、ものごとを自分で選んだり、決めたりすることができる。
- 2 心身ともに健康で明るい生活ができる。
- 3 自分のことを一人で行えるようになるとともに、必要な援助を適切に求めることができる。
- 4 他者のことも考えて、望ましい人間関係をつくることができる。
- 5 仕事の大切さを知り、誇りをもって働くことができる。
- 6 個性や能力を発揮し、表現して、楽しく心豊かな生活をするすることができる。

《小学部》

- 身のまわりのことができる子
- 友達と仲良くできる子
- すすんで活動に取り組める子

《中学部》

- 身のまわりのことをきちんとできる生徒
- みんなと協力できる生徒
- 何事にも進んで取り組める生徒

《高等部》

- 日常の生活習慣を身に付けた生徒
- 決まりを守りみんなと協力できる生徒
- 社会生活に必要な力をつけられる生徒



《目指す学校像》

小・中・高12年間の一貫した、きめ細かく丁寧な教育をとおして、一人一人の個性・能力を調和的に高めていける魅力ある学校

《目指す教職員像》

チームしろ特 「ホワイトメタルズ」

- あたたかく、思いやりにあふれ、風通しのよい働きやすいチーム
- 自ら考え、声をかけ合いながら、笑顔ではつらつと動けるチーム

《本年度の重点目標》

- 互いのよさや多様な考え方を認め合い、よりよい人間関係を築いたり、集団の中で行動できる力を高めたりしてウェルビーイングの向上を図る。
- 社会生活で求められるソーシャルスキルや、お互いの思いや感情、考えを伝えたり受け入れたりできるコミュニケーション力の向上を図る。
- エージェンシーを発揮し、「わかった」「できた」が実感でき、身につけた力を普段の生活で生かせるように指導をおこなう。
- 児童生徒自身が体調の変化に気づき、周囲に発信したり、危険に対する意識・回避能力を高め行動できたりする健康教育、安全教育をおこなう。
- 教職員自身が人権意識を高めるとともに、服務規律の確保を行い、児童生徒の模範となる行動をとる。
- 強度行動障害や愛着障害など児童生徒の障害特性を理解し、一人ひとりに応じた指導・支援をおこなう。
- ICTを活用した指導・支援の充実を図るとともに、デジタル化による校務を適切におこなう。
- 教職員同士が学部を超えた連携・協力体制を構築し、いつでも助け合える風通しのよい職場環境をつくる。